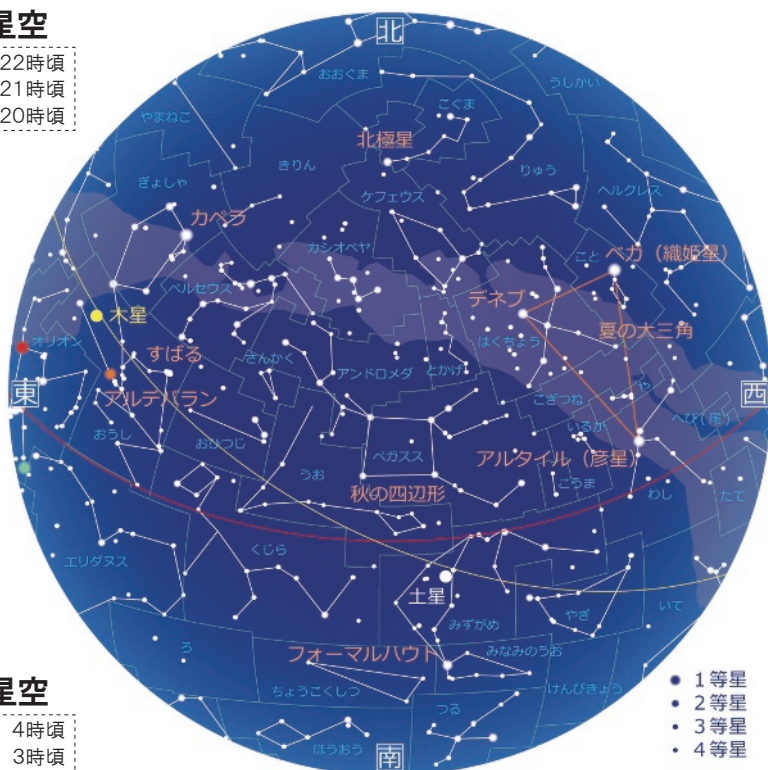


星空ガイド 10月16日～11月15日

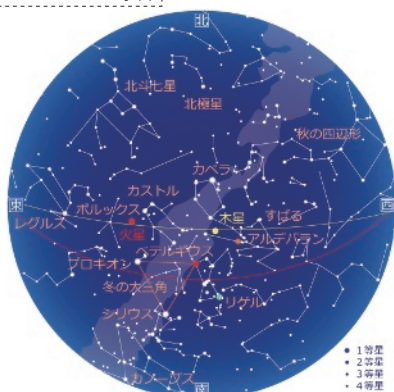
よいの星空

10月16日22時頃
11月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

10月16日 4時頃
11月 1日 3時頃
15日 2時頃



〔太陽と月の出入り(大阪)〕

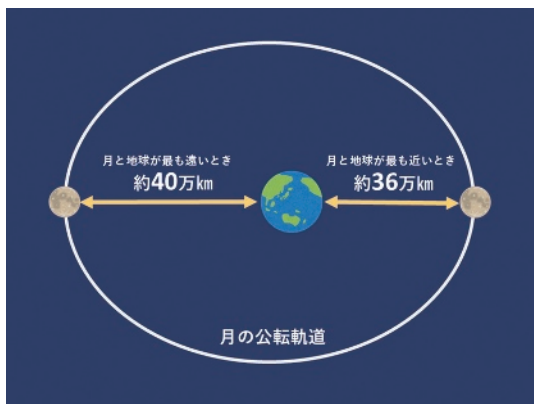
月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
10	16	水	6:04	17:22	16:36	4:11	13.3
	21	月	6:08	17:16	20:00	10:25	18.3
	26	土	6:12	17:10	0:10	14:16	23.3
11	1	金	6:18	17:04	5:52	16:40	29.3
	6	水	6:23	16:59	10:50	20:12	4.6
	11	月	6:27	16:55	14:04	0:40	9.6
	15	金	6:31	16:53	16:10	5:27	13.6

※惑星は2024年11月1日の位置です。

スーパームーンってどんなムーン？

10月17日の満月は2024年に見られる満月の中では一番大きく見える満月です。このような満月を「スーパームーン」と呼ぶことがあります。スーパームーンは天文学の用語ではなく、もともとは星占いで使われていた言葉だと言われています。最近ではネットニュースなどでよく取り上げられているため耳にしたことがある方も多いでしょう。

ところで、どうして月は大きく見えたり小さく見えたりするのでしょうか。これは、月そのものが大きくなったり小さくなっているのではなく、月が地球に近づいたり遠ざかったりしているのが原因です。月は地球の周りを公転していますが、その軌道は真円ではなく楕円形です。そのため、地球と月の間の距離は一定ではなく、地球に対して月は近づいたり遠ざかったりしているのです。なので、スーパームーンはその年に見られる満月の中で最も地球に近いところにある満月とも言えます。



月の公転軌道(イメージ)

また、地平線近くに輝く月は、空の高いところで輝く月に対して非常に大きく感じる場合があります。しかしこれは錯覚であり、同じ日の月の見かけの大きさはほとんど変わっていません。(数時間のうちに月が一気に遠ざかっているわけではないのです。)このような錯覚が起こる原因については諸説ありますが、はっきりとした理由はわからず、現在も議論が続いています。

野村 美月(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
10	17	木	○満月(20時) 2024年で一番大きく見える満月
	20	日	土用の入り
	21	月	月と木星がならぶ この頃オリオン座流星群が極大
	23	水	霜降
	24	木	●下弦(4時)
	31	木	明方に月とスピカがならぶ

月	日	曜	主な天文現象など
11	1	金	●新月(22時)
	3	日	夕方に月と水星がならぶ
	4	月	明け方に月とアンタレスが接近
	5	火	月と金星がならぶ
	7	木	立冬
	9	土	●上弦(15時)
	11	月	月と土星が接近 メキシコ沿岸で土星食